



旧森川家住宅



旧松阪家住宅



旧上吉井家住宅



旧吉井家住宅



頼惟清旧宅

広島竹原芸術祭 2024 記憶の地層

Hiroshima Takehara Art Festival 2024 The Layers of Memories

2024.9.14土ー10.6日 10時ー16時 会期中無休
広島県竹原市町並み保存地区およびその周辺

竹原市重要文化財 旧森川家住宅
竹原市重要文化財 旧松阪家住宅
竹原市重要文化財 旧吉井家住宅
旧上吉井家住宅 初代竹原郵便局跡
広島県史跡 頼惟清旧宅

入場料: 一部有料(旧森川家住宅: 400円、旧松阪家住宅: 300円)
実施団体: 竹原芸術イベント実行委員会
お問い合わせ: TEL 0846-22-2328 FAX 0846-22-8460

Hiroshima Takehara Art Festival

ちえんしげ
百崎楓丘
竹村京
島村凜
岩崎貴宏
安達響
参加作家

広島竹原芸術祭 2024

記憶の地層

安達響



岩崎貴宏



島村凜



竹村京



ちえんしげ



百崎楓丘



瀬戸内海に面した広島県竹原市は、平安時代に京都下鴨神社の荘園として栄えた歴史から「芸の小京都」とも呼ばれています。江戸時代には製塩業で栄え、「浜旦那」と呼ばれた商人たちが文化や芸術、学問を支えていました。竹原市のシンボルともいえる町並み保存地区には、江戸から昭和初期までに建てられた歴史的建造物が残され、町の歴史を今日に伝えています。

広島竹原芸術祭は、これらの貴重な建造物とアートのコラボレーションを通じて、非日常的空間を創出するアートイベントです。4回目の開催となる今回のテーマは「記憶の地層」。何十年、何百年とこの町を見てきた住居には、そこに暮らした人々の歴史が積み重ねられています。それは堆積した記憶となつて、今日を生きる私たちに語りかけてきます。本展に参加するアーティストたちは、家の歴史に向き合いながら、作品を通して様々な記憶を表出させます。江戸時代から続く歴史を感じながら、ユニークなアートとの出会いをお楽しみください。

Hiroshima Takehara Art Festival 2024

参加作家 安達響 Hibiki ADACHI 2002年京都府生まれ。広島市立大学芸術学部美術学科彫刻専攻4年生。大理石や木、金属、セラミックなどの多様な素材を用いて自然界の生き物や地球の歴史を思わせる繊細な彫刻を制作する。本展では岩塩を用いた作品を展示し、竹原の塩づくりの歴史との接続を試みる。

島村凜 Rin SHIMAMURA 2002年神奈川県生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科4年生。他者との交流を通して人と生活、歴史との関係をリサーチし、インスタレーションを制作する。本展では曾祖父が愛用していた蓄音機を修理して過去の音を再現しつつ、戦時中の状況を調べた作品や、竹原に住む人々への取材を通して制作した新作を発表する。

ちえんしげ CHEN Shige 1993年台湾・台北市生まれ。東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻博士後期課程2年生。絵画やマンガなどの表現を用いて多言語社会やコミュニケーションに関する作品を制作する。本展では下宿先の大家さんが作ってくれた料理を介したコミュニケーションをテーマにした作品シリーズや、植民地教科書中の文字と風景に着目した新作を発表する。

キュレーター 荒木夏実/東京藝術大学准教授
Curator Natsumi ARAKI/Associate Professor-Tokyo University of the Arts

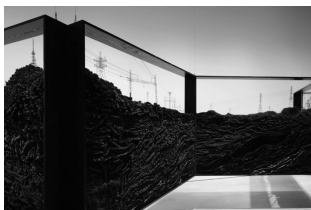
岩崎貴宏 Takahiro IWASAKI 1975年広島県生まれ。広島市立大学芸術学部准教授。歯ブラシやタオル、文庫本の葉などの日常品を用いて繊細な風景を出現させ、普段とは全く異なる視点から世界を捉え直す試みを行う。大量の布を用いて表した大地の地層と地表に立つ鉄塔や鉄橋の対比から、地球の営みと人間の時間との関係性が見えてくる。

竹村京 Kei TAKEMURA 1975年東京都生まれ。刺繍を施した布を写真やドローイングに重ねる作品や、壊れた道具を布で包み、光る絹糸で縫う作品を制作する。竹村の行為によって記憶のかけらに光が当てられ、かつて存在したものや風景が浮かび上がってくる。本展では、竹原の古い住宅に住んでいた人たちに思いをはせ、過去と現在をつなぐ作品を発表する。

百崎楓丘 Fuka MOMOZAKI 2002年東京都生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科4年生。ジェンダーやさまざまな社会的属性に縛られない身体の可能性について考察しながら写真作品を制作している。本展では竹原の人々を被写体とし、個人の身体のもつ物語や、個人と場所との関係を探る新作を発表する。



安達響《ミギワ》2024



岩崎貴宏《Out of Disorder (Layer and Folding)》2018
「跳躍する手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー」展示風景 京都市京セラ美術館、2023 撮影：来田猛



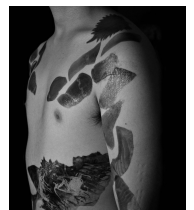
島村凜《忘れられた音を聴く》2023



竹村京《修復されたY家の獅子》2024



ちえんしげ《今日はすき焼き》2022



百崎楓丘《女体彩り盛り》2023
(参考画像)

会期: 2024年9月14日(土) - 10月6日(日)

時間: 10時 - 16時 会期中無休

入場料: 一部有料(旧森川家住宅:400円、旧松阪家住宅:300円)

アクセス【竹原市まで】●自家用車:山陽自動車道河内ICから約20分●鉄道:
JR三原駅から約30分●バス等:JR東広島駅から約30分(路線バス) 広島駅
から約80分(高速バス)広島空港から約30分(乗合バス) 【町並み保存地区】
JR竹原駅から徒歩10分、道の駅たけはらから徒歩5分(交通アクセスはこちら:
<https://www.takeharakankou.jp/access>)

The Layers of Memories